

令和6年度 推薦入学の合否判定基準

1 推薦の資格

(1) 出願資格

沖縄県内の中学校等を令和6年3月に卒業見込みの者で、本校総合学科に対する目的意識が明確であり、学業成績・学習態度及び出席状況が良好で、健康かつ人物的にも優れ、中学校等の校長が推薦するもの。

(2) 出願の要件

志願者は、①または②の要件を満たし、かつ③の要件を満たしているものとする。

- ① 次に掲げる諸活動の実績等について自分を表現すること（以下「自己表現」という）ができること。
 なお、当該活動の実績については、最も顕著な実績を証明する資料（賞状、認定証等）のA4版の写しを最大2件の2枚以内（表面の資料だけでは証明が不十分な場合は裏面も使う。例：団体競技の賞状は裏面にレギュラー表をつける）で提出すること。

なお、当該活動以外の実績については選抜の参考資料としないので、提出しない。

(ア) 文化活動	(イ) スポーツ活動	(ウ) 社会活動
(エ) ボランティア活動	(オ) 資格取得等の活動	

- ② 次に掲げる分野について表現すること（以下「個性表現」という）ができること。

(ア) 音楽、美術、書道等の芸術分野	(イ) 文芸、研究等の分野
(ウ) 舞踊、創作ダンス、手話等の身体活動を伴う分野	(エ) 留学等の体験的分野芸術の分野

- ③ 学業成績、出席状況において(ア)(イ)を満たしていること

(ア) 学業成績が良好で、3年間の <u>評定平均値が3.0以上（内申合計81以上）あり、各教科の評定に1がないこと。</u>
(イ) 出席状況が良好で、無届欠席が各学年とも <u>5回以内</u> であること。

2 選抜基準

- (1) 本校への入学の目的意識が明確な者。

- (2) 出願の要件にあたる①または②の各分野における、顕著な実績のある者。

① 自己表現

(ア) 文化活動

ランク	活 動 ・ 実 績
1	県代表・県レベル以上での最優秀賞・生徒会会長
2	地区代表・生徒会副会長・県レベル以上での優秀賞
3	学校代表・部長・生徒会役員・学級委員長・県レベル以上での優良賞
4	上記以外

(イ) スポーツ活動

ランク	活 動 ・ 実 績
1	九州大会・全国大会出場、県選抜メンバー
2	県大会団体戦ベスト4以上、個人戦ベスト8以上、地区選抜メンバー
3	地区大会団体戦準優勝以上、個人戦ベスト4以上
4	上記以外

(ウ) 社会活動

ランク	活 動 ・ 実 績
1	県レベルの表彰を受けた者
2	市町村レベルの表彰を受けた者
3	地域で継続的に活動した者
4	上記以外

(エ) ボランティア活動

ランク	活 動 ・ 実 績
1	県レベルの表彰を受けた者
2	市町村レベルの表彰を受けた者
3	地域や学校で継続的に活動した者
4	上記以外

(オ) 資格取得等の活動

略称：英検(実用英語技能検定)、漢検(日本漢字能力検定)、数検(実用数学技能検定)

ランク	活 動 ・ 実 績
1	英検準2級・漢検準2級・数検準2級・珠算3段の各級以上
2	英検3級・漢検3級・数検3級・珠算1級～2段
3	英検4級・漢検4級・数検4級・珠算2級～3級
4	上記以外

② 個性表現

- (ア) 音楽、美術及び書道等の芸術分野
- (イ) 文芸及び研究等の分野
- (ウ) 舞踊、創作ダンス及び手話等の身体的活動を伴う分野
- (エ) 留学等の体験的活動を伴う分野

(ア)～(エ)の各分野について推薦申請書の内容を5分程度発表してもらい、自己表現のランク基準に匹敵するものかどうかを考慮しながら、ランクづけをする。

3 選抜方法

- (1) 中学校等の校長から提出された、推薦入学志願書、調査書、推薦申請書及び面接等の結果に基づき推薦入学予定者を決定する。
- (2) 面接等の実施
提出された推薦申請書に記載された自己表現及び個性表現の申告内容その他の事項について実施する。

令和6年度 一般入学の合否判定基準

1 募集定員及び通学区域

- (1) 本校における一般入学の募集人員は、募集定員から推薦合格者数を引いた数とする。
- (2) 総合学科の通学区域は全県域とする。

2 出願資格

- (1) 中学校等を令和6年3月に卒業見込みの者
- (2) 中学校等を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則95条各号のいずれかに該当する者

3 選抜の方法

- (1) 選抜は、調査書、学力検査の成績及び面接等の結果を基にして総合的に行う。
- (2) 調査書と学力検査等の成績との比重は5対5とする。